

報道関係各位

2015年8月28日

大東建託グループ「ライトダウン運動 2015」結果報告 節電相当分のCO₂をスギの吸収量に換算 気仙スギ477本分の植林費用を岩手県・住田町に寄付

大東建託グループでは、環境省が地球温暖化防止を目的に推進する「ライトダウンキャンペーン」に賛同し、初回となる昨年度に引き続き「ライトダウン運動2015」を6月22日の夏至の日と7月7日の七夕の20時から22時の2時間実施しました。

ライトダウン運動は、全国の大東建託グループ施設（935施設）での消灯に加え、従業員・オーナー様・入居者様・取引先様などの、各ステークホルダー様にも自宅での消灯へのご協力を呼びかけた結果、登録者数は10,246人となりました。多数の皆さまから消灯実施のご報告をいただきました。

■「ライトダウン運動 2015」の結果

ライトダウン運動にご協力いただいた皆さまの総節電量「12,096kWh」をCO₂発生量に換算し、スギのCO₂吸収量※で本数に換算しています。今年は昨年を100本以上も上回る477本分のスギの植林費用を、国産材活用で協業する岩手県・住田町に寄付いたしました。

※スギのCO₂吸収量：一本あたり年間約14kg-CO₂

～ ライトダウン運動 2015結果 ～ (6/22&7/7実施)



※()昨年度結果

今年で2回目となった当社のライトダウン運動は、多くの皆さまにご協力いただき、477本の植林支援を行うことになりました。この取り組みは、企業としての環境配慮はもちろんのこと、グループ全体およびステークホルダーの皆さまが一体感を持って参加できる活動として実施しております。

当社は今後もより一層環境に配慮した取り組みを継続して行ってまいります。

(次のページへ続く)

■「住田町・大東建託 協働の森」寄付金受領式

8月24日にライトダウン運動2015で算出された477本分のスギの植林費用を昨年同様、森林・林業で日本一の町づくりを目指している住田町へ寄付いたしました。住田町役場にて「住田町・大東建託 協働の森」寄付金受領式が行われ、当社取締役執行役員 齊藤和彦（震災復興責任者）より住田町長 多田欣一様へ寄付金をお渡しいたしました。苗木が植えられている山の一角には、植林を記念する看板を設置いたしました。



●住田町での寄付金受領式



●植林された杉の苗木を見学



●「住田町・大東建託 協働の森」の看板を設置



以上

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
和賀・新宮
TEL (03)6718-9174